

2018年1月1日から2022年8月31日までに
当院婦人科を受診し、
進行卵巣癌に対してOlaparib維持療法
が行われた患者さんへ
研究実施のお知らせ

連絡先
791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 婦人科 横山貴紀
TEL 089-999-1111 FAX 089-999-1100

【研究課題名】

Olaparib維持療法中に増悪した再発卵巣癌におけるBevacizumab併用化学療法の有用性

【研究の概要】

近年、進行卵巣癌の患者さんにOlaparibの有用性が示され、使用される場合が増えてきております。ただし、Olaparib維持療法で増悪した再発卵巣癌ではプラチナ製剤を含む化学療法の奏効率は20-40%と低く、満足できる結果には至っておりません。また、Bevacizumabは進行卵巣癌の化学療法との併用維持療法の有用性は示されており、日常診療でも行われている薬剤です。Olaparib維持療法後の化学療法でもBevacizumabの併用維持療法が有用であると推測されますが、十分なエビデンスは存在していません。当科ではBevacizumabを併用した化学療法が選択される場合が多く、その有効性を調査します。

【研究の意義】

当院における進行卵巣癌の診療の向上に役立てます。

【目的】

Olaparib維持療法中に増悪した再発卵巣癌におけるBevacizumab併用化学療法の有用性について検討します。

【方法】

当院で進行再発卵巣癌に対してOlaparibによる維持療法を受けられた患者さん70症例を対象に診察所見、治療内容、経過などについて診療録（カルテ）を用いて調査を行います。

【個人情報保護に関する配慮】

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。具体的には、対象となる患者さんには当院のカルテ番号が割り当てられていますが、その番号とは全く異なる本研究用の識別番号を用いて管理し、個人情報が院外に出ることはありません。

本研究に関してお聞きになりたいことがあれば、あるいは本研究への参加に同意しない場合は次の連絡先まで連絡してください。